



進路通信

令和7年度

第5号

令和7年9月24日発行

高崎商業高等学校定時制進路担当

就職試験の9月



今まさに就職試験の真っ只中です

高卒新卒就職の採用試験が9月16日に全国で一斉に解禁され、各企業で順次始まりました。本校の4年生も8名が就職に挑んでいます。

試験の日程や試験内容、試験場所などは応募書類を提出した後に企業側から指定され、学校に連絡があります。今年度の本校生徒の試験日は、早い人が18日、遅い人は30日です。試験内容は、面接のみだったり、面接と適性試験、学科試験、作文などを合わせて実施するところなど、様々です。

面接練習のスケジュールはつぎのとおりです。これ以外にもそれぞれが自分の思いをしっかりと伝えられるように自主練習も重ねて来ました。

面接練習スケジュール

8/27(水) 面接練習会(協力:ハローワーク)
9/1(月) ~ 個別面接練習開始(「課題研究」なども活用)
9/16(火) ~ 就職試験順次開始、内定連絡2週間以内



複数の企業を見学した上で自分で選び抜いて応募先を決めたはずなので、まずはそこから無事内定をいただけるよう祈りたいと思います。しかし、万が一内定をいただけなかったとしても、それはその企業と相性が合わなかっただけと割り切ることも必要だとあらかじめ伝えておきます。

就職試験はある意味「お見合い」のようなもの。相思相愛とならない場合もあるでしょう。しかし、そんなときも、単に縁がなかったと捉えるに止め、自分が否定されたなどと思い詰めないことが肝心です。むしろ、より自分に合う求人を見つける機会を得られてよかったと考え、前向きに就職活動を続けていきましょう。

これまでに、何度か挑戦した後に就職が決まった先輩を何人も見てきました。そして、最終的に就職できたところがとても自分に合っていて結果的によかった、という話もよく聞きます。一度の試験で内定が出ても出なくても、就職を希望する全員に「良い出会い」があることを願っています。頑張りましょう。

「欠席日数」は消せません

「休むこと」自体は万人に与えられた権利です。ですから、欠席してはいけないなどということはありません。

ただし、高校を卒業するためには、全ての授業に年間授業時数の3分の2以上出席し、単位を取得することが必要です。3分の1以上の欠課があれば単位は取得できません。必要な単位を取れない限り卒業は出来ず、卒業できなければ、高校卒業を前提とした就職や進学はできません。さらに、仮にぎりぎりの出席日数で卒業が出来たとしても、休むことが万人の権利であるのと同様、採用する企業側が「欠席日数」の少ない人を好んで採用するのも権利です。多くの企業が「欠席日数」を選考の重要な基準としていることも知っておきましょう。

欠席にはそれぞれにやむを得ない事情があることと思います。その上で、自分が後悔することがないように、日々の欠席の積み重ねが結果としてどのような影響を及ぼすかについて、バイアスを排して正確に把握し、しっかり理解しておきましょう。

